

緑が丘地区

I 協議体の概要

| | | | |
|--|--|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 会議名 | 地域福祉連携会議 | | |
| 設置年月日 | 平成30年4月5日 | 開催頻度 | 6回/年 |
| 構成団体 (◎: 事務局) | | | |
| <input type="radio"/> 自治会連合会 | <input type="radio"/> まちづくり協議会 | <input type="radio"/> 民生委員児童委員協議会 | <input type="radio"/> 地区社会福祉協議会 |
| <input type="radio"/> 老人クラブ連合会 | 福祉協力員連絡会 | <input type="radio"/> 健康づくり推進委員会 | 第2層生活支援コーディネーター |
| 市社会福祉協議会 | ◎ 地域包括支援センター | その他 () | |
| 設置方式 | | | |
| <input type="checkbox"/> 新規設置 | <input type="checkbox"/> 既存会議活用 () | | <input type="checkbox"/> 地域ケア会議活用 |
| 設置要綱・会則等の有無 | 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 | | |
| 設置までの経緯 | | | |
| 時期 | 内容 | | |
| 平成29年 8月 | 地域ケア会議 (メンバー: 自治会連合会, 単位自治会, 老人クラブ, 民生委員, 包括等) → 地域包括ケアシステムの概要について共通理解を図った。 | | |
| 平成29年11月 | 民児協議会 → 地域包括ケアシステム, 第2層協議体の取組について共通理解を図った。 | | |
| 平成30年 1月 | 勉強会 (参加者: 自治会連合会, 民児協, 包括等) → 第2層協議体について理解を深めるとともに, 今後の進め方について意見交換を行った。 | | |
| 2月 | 地域ケア会議 → 地域包括ケアシステム, 第2層協議体について理解を深め, 地域の課題と解決策について検討を行った。 → 第2層協議体設置 (地域ケア会議活用型) について合意形成 | | |
| 4月 | 第2層協議体設置 | | |
| 協議体における検討内容 (協議体で取り組んできたこと, 議論してきたこと) | | | |
| 地域情報の共有, 課題やニーズの把握について | <ul style="list-style-type: none"> 各自治会長が取組内容を発表し, 意見交換 地域の事例を紹介し, グループワークで意見交換 地域福祉アンケート調査を実施 → アンケート調査集計後, 民生委員が支援希望者宅に聞き取り調査 | | |
| 支え合い活動について (見守り活動, 居場所づくり, 生活支援ボランティア等) | <ul style="list-style-type: none"> 双葉1丁目自治会における生活支援ボランティア (訪問型サービスB) について実施状況を共有, 課題について検討 | | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> 地区内の社会資源の一覧を民生委員が訪問時に配付, 説明 → 継続して地域住民への配布を検討 | | |

II 取組事例

【支え合いづくりアンケート調査】

経 緯：平成30年 6月 アンケート調査に向けて意見交換
 平成30年 8月 アンケート調査実施
 平成30年 9月 アンケート調査の結果報告及び情報共有
 平成31年2～3月 民生委員がアンケート調査の支援希望者宅へ聞き取り調査を実施
 平成31年 4月 聞き取り調査結果報告
 平成31年 6月 アンケート・聞き取り調査の結果から、今後の支援方法を検討

緑が丘地区 地域福祉アンケート (案)

緑が丘地域福祉推進協議会 会長 金田尚夫

1. 日常生活で困りのことがありますか？
 () あり 一週2回 () ない 一週3回

2. 困りで「ある」と思えたが、誰か頼りにすることで困っていませんでした。その困っていたことを手伝ってもらえるようなサービスがあったら、頼みたいですか？
 必要であればほかにこうもついでください

| | 困っている | サービスがあれば頼みたい | すでに受けているサービスがある |
|-------------|-------|--------------|-----------------|
| ① 掃除 | | | |
| ② ゴミ出し | | | |
| ③ 買い物 | | | |
| ④ 食事の準備 | | | |
| ⑤ 散歩 | | | |
| ⑥ 電話の交換 | | | |
| ⑦ 傾聴・相談 | | | |
| ⑧ その他(具体的に) | | | |
| ⑨ その他 | | | |

3. 地域の中で日常生活で困っている方がいかに増え、あなたはそのために何らかの対応を考えてあげることが出来ますか？
 () 手伝える 一週4 (1) 回
 () 場合によっては手伝える 一週4 (1) (2) 回
 () 手伝えたい 一週5回

対 象：65歳以上一人暮らし高齢者
 内 容：・ 民生委員が対象世帯宅に訪問し、日常生活の困りごとを調査
 (困りごとの有無、具体的な困りごと、支援の希望の有無、さらに支援側としての有無等)
 ・ 民生委員がアンケート調査で支援希望者を対象に、具体的に受けたいサービスを訪問調査

効果 (検討中の場合は、期待する効果)

地域における高齢者の課題の把握とともに、支援の担い手についても把握することができた。

#

【訪問型サービスBの地域全体での運営】

単位自治会(双葉1丁目自治会)を中心に運営していた「訪問型サービスB※」を、令和4年6月より地域全体(連合自治会圏域)で運営する体制に移行。支援者を新たに募集し、緑が丘地区全体で93名が登録された。

※ 介護保険法に位置づけられたサービスで、自治会等の地域住民主体により、高齢者の生活支援を行うもの(宇都宮市補助事業)

<サービスの概要>

名 称：緑が丘地域ふれあいセンター

実施主体：緑が丘まちづくり協議会

対 象：65歳以上

- ① 要支援認定者及び
チェックリスト該当者
- ② 緑が丘地区の自治会員

サービス内容：地域包括支援センターが作成したケアプランに基づき、定期的に生活援助を実施

【基本サービス】草取り、ごみ出し、掃除

【その他】傾聴、新聞朗読、買い物、電球交換、散歩同行等

| | 令和4年5月以前 | 令和4年6月以降 |
|--------|--|--|
| 名 称 | ふたば生活支援ふれあいセンター | 緑が丘地域ふれあいセンター |
| 事務局 | 双葉1丁目自治会 | 緑が丘まちづくり協議会 |
| 対象地区 | 緑が丘地区※ ※ 実質的な活動範囲は双葉1丁目自治会内のみ | 緑が丘地区 |
| 対象者 | 65歳以上 ① 要支援認定者及びチェックリスト該当者 ② 緑が丘地区自治会員 | 65歳以上 ① 要支援認定者及びチェックリスト該当者 ② 緑が丘地区自治会員 |
| サービス内容 | 【基本サービス】草取り、ごみ出し、掃除 【その他】傾聴、新聞朗読、買い物、調理、散歩同行等 | 【基本サービス】草取り、ごみ出し、掃除 【その他】傾聴、新聞朗読、買い物、電球交換、散歩同行等 |

効果 (検討中の場合は、期待する効果)

高齢化が進む地域において今後ますます重要になってくるサービスであり、地域全体で取り組む必要があることを意識してもらうことができた。

III 協議体を設置して、良かったこと

- ・ 地域の事例をグループで検討することにより、各団体の活動や地域の現状を把握できた。
- ・ 各団体の活動内容を把握することにより、協議体の各支援に適したメンバーで活動が行えた。

IV 今後の方向性

地域の現状(事例紹介、訪問型サービスBの利用状況)について情報共有をしながら、課題を抽出し、解決策の検討を進める。